

国際奉仕事業「フィリピンケソンシティー小学校2校への給水モーターポンプ設置事業」の検証

今回の訪問は、2000～2001年度 WCS 委員会・同額補助金を利用した人道的な世界社会奉仕プロジェクトであるフィリピン、マニラ市内の2小学校に井戸を提供したマッチンググランド事業の検証を目的としました。先の事業は、3800 地区サンパギータ・グレース・パーク・ロータリークラブと 2780 地区茅ヶ崎中央ロータリークラブとの同額補助金（2000 ドル+2000 ドル+RI4000 ドル）で行われました。

当時、フィリピンの当該地区に外務省より危険情報がでており、引き渡し式のための渡航を断念した経緯があります。

今回、1月13日から16日に、池亀会員・相馬会員・野崎会員の三名が設置した井戸の検証に向いました。



現地クラブの例会にて

14日 サンパギータ・グレース・パーク RC の例会訪問

15日 タリ・パパエレメンタリー・スクール・そしてタリ・エレメンタリー・スクール訪問

タリ・パパエレメンタリー・スクールでは、2012年にモーターポンプが盗難にあったと説明がありました。現在は、手動ポンプが設置されているものの、水が出ない状態でした。

タリ・エレメンタリー・スクールでは、モーターポンプを設置した場所に、新設校舎が建設されてしまったため、建設時に撤去処分されたそうです。基本的にタリ・パパエレメンタリー・スクール同様に給水事情が悪く、給水タンクの設置を切に望んでいました。

周辺の衛生環境も決してよくなく、校舎改築後も椅子テーブル、ノート、鉛筆などの備品設備の不足が恒常的のようでした。



現地クラブ例会場で

池亀会員・野崎会員・相馬会員



両校で大歓迎を受けましたが、現在、井戸は無く12年の歳月が流れたな、と感じる一方で、学校も今後の支援に期待しての大歓迎だったのではないかと、期待に答えてあげたい気持ちが溢れました。



マッチング・グラントの目標は、ロータリー・クラブと地区が他国のロータリアンと協力して、国際的な人道的プロジェクトを遂行するのを援助することである。ロータリー財団は、米貨1ドルの現金寄付に対し、米貨50セントの補助金を提供する。地区財団活動資金(DDF)からの寄贈はいかなる場合も、米貨1ドルに対し、米貨1ドルの補助金を財団が提供する。

マッチング・グラント・プロジェクトは、1) 国際的規模のものでなければならない(すなわち、最低2カ国における少なくとも2つのロータリー・クラブまたは地区が関与していること)。2) 財団の資格条件に関する指針を遵守しなければならない。3) マッチング・グラントに関する要件は、ロータリー財団に申請する補助金額によって異なる。

WCS とは:世界社会奉仕(World Community Service)とは海外に向かったの社会奉仕